

自己実現への道

第104回 ー 第8章 「信念さえあれば必ず道は開ける」(その8)

★ 人生に夢の味つけをする

聖書の中に「あなたがたは、地の塩である。しかし、塩がその塩気をなくしたら、何の役にも立たなくなる」というキリストの言葉がある。「地の塩になきなさい」という言葉はどういうことを意味しているのでしょうか。

例を挙げて説明しよう。塩を使わない食べ物がどれほど味気ないか、想像がつくだろうか？

国会、議会、会社など、どのような組織も新しいアイデアや創造的な展望に欠けると、塩気のない食べ物と同じで、活力を失ってしまう。

地域社会、市、県、国、人生・・・どれをとってみても未来を展望する思想家が登場しなければ、なんとも無味乾燥なものになってしまう。

彼らは、泥色の世界の中に「美」を、陳腐な世界の中に「光り輝くもの」を、退屈とあくびが蔓延する世の中に「刺激」を創造してくれる。回りを注意深く見まわしてみよう。

未来を望む思想家がいるところでは、人生は停滞しない。周りに可能性が跳ね回り、偉大なアイデアが大きなプロジェクトを生むとき、眠れる小さな町は目を覚ます。なんと素晴らしいことか。

自分の周りにいる人々の生活に、たとえわずかでもエネルギーと情熱を注いであげよう。

実現性のある諸計画を立てて、世界の味つけをする、活気あふれる指導者は、どんな事態に直面しても、たちまち生氣を吹き込むことができる。塩分を絶対に失わないように気をつけよう。

人生に刺激をもたらしてくれる夢を、いつまでも持ち続けよう。人生の暗い面にこだわることから生まれる大きなあくびや倦怠感に取りつかれてはならない。

来る日も来る日も、動きのある暮らしをしよう。人生という饗宴に味つけをする日々を送ろう。

今日人類は暗澹たる全身をつづけ、多くの人々はあきらめ、無気力になっている。

人類はもう破滅するときまっているわけではないのだ。

希望はまだある。

多くの人々に希望の火を点じようではないか。

英語で「salt of life」ってどんな意味？ ⇒ 正解は「生きがい」という意味！
“salt”には、「塩」のほかに「生氣を与えるもの」「元気づけるもの」という意味があります。そのため“salt of life”で、人生の刺激剤、つまり「生きがい」というような意味合いになります。

【例文】「Studying is the salt of life.」(勉強は人生の生きがいだ。)

他の単語を使って「生きがい」を表現するなら、「reason for living」、「a purpose in life」などで言い換えることが可能です。

人生の塩…!?



salt of life

どんな意味？

<MIKO>

参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より